

子の古着送ると 貧困対策に寄付

内閣府、企業と連携

内閣府などは24日、民間企業と連携し、着なくなった子供服を子供の貧困対策事業への寄付につなげる「こども服みらいファンド」を始めた。松山政司1億総活躍担当相はこの日の

閣議後記者会見で、「支援の輪が広がることを期待している」と述べた。

この取り組みに協力するのは、インターネットを通じた子供服のリサイクルを手がける「キャリアオン」。子供服をキャリアオンに送ると、査定額の全額が「子供の未来応援基金」に寄付される仕組みとなっている。同基金は、NPOなど

による学習支援や、貧困家庭の子供たちに無料や安価で食事を提供する「子ども食堂」といった活動を助成する。

内閣府、文部科学省、厚生労働省などが進める「子供の未来応援国民運動」の一環。子供服と同じ仕組みの「こどもみらい古本募金」が昨年11月に始まっている。